広報 くにもと
Mar 2026
No. 91
［編集・発行］国本地区づくり振興会



自治会をもっと身近に！ くにもと「自治会ロゴ」誕生

［主　催］国本地区自治会連合会

国本地区自治会連合会は、この度、自治会をもっと身近に感じていただき、自治会加入や地域活動への参加につながるよう、「自治会ロゴ」を作成しました。

今年度は「まずは、自治会がもっと親しみやすく身近な存在になることが必要ではないか」という声から、自治会に愛着・親近感を持てるよう作成しました。

キャラクターは、国本地区をイメージした、親しみやすいものになるよう、デザイナーと連合自治会役員等で協議を重ね３点の候補案を選び、地区内小中学生全員や「くにもとまつり」来場者など総勢2,263名に投票いただいて決定しました。キャッチフレーズは、すでに使用している「We♥くにもと」を組み合わせ、自治会長研修会で自治会ロゴを完成させました。

今後は、キャラクターの愛称を募集するなど、地域の皆様とともに、地域に愛される自治会ロゴに育てていくとともに、様々な場面で活用し、子どもから高齢者まで幅広い世代に自治会を身近に感じていただき、自治会加入促進、活動への参加促進、退会抑止等につなげていきたいと考えています。



移動販売をきっかけに地域のつながりを

1/14（水） 1/16（金） スタート

［場　所］水曜日／藤岡（松本様宅）、国本地区市民センター、藤岡公民館、新里三区公民館、仁良塚公民館
金曜日／新里団地（渡辺様宅）、岩原運動公園、岩原公民館
［主　催］つながり愛たい

市高齢福祉課の事業として発足した移動販売を実施しようと思ったきっかけは、国本地区にはスーパーマーケットが少なく、車に頼らないと生活しにくい地域だからです。80歳を超えると家族から運転免許返納を迫られ、車が使えなくなります。実際に車のない方から「自転車で遠いマーケットに行くのが大変。近くに毎週、移動販売が来ると助かります。ぜひ、続けてほしい」と要望がありました。そして、顔の見えるところで情報交換や交流をし、お互いに頼れる関係を築いていきたいと思います。

今後は高齢者が多くいる地域に拠点を増やす取り組みが必要だと感じているので、品揃えや販売方法などに多くの意見を寄せ、「はぐくむ移動販売」にしていきたいと思います。



地域情報（どんなことでも）をお寄せ下さい。なお、所定の様式がありますので地区市民センターまでお問合せ下さい。 TEL 665-2942

令和8年 二十歳を祝う成人のつどい

1/11(日)
14:00▶15:30

［場　所］ホテル東日本宇都宮
［主　催］宇都宮市二十歳を祝う成人のつどい
国本中学校区
会場実施委員会
［参加者］約140名



令和２年度国本中学校の卒業生114名が参加し、厳粛な雰囲気の中で「成人のつどい」が開催されました。

式典の前半では、新成人代表が「誓いの言葉」を述べ、二十歳として社会を歩む力強い意志と決意を伝えました。後半の地域交流事業では、地域の方々や恩師、家族への感謝が「お礼の言葉」として述べられ、その後、恩師から当時の思い出を振り返りながら新成人へ温かい祝福の言葉が贈られました。

この学年は、新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行の中止を余儀なくされるなど、悲しく、また苦しい思いをした学年です。しかし、困難を乗り越え、晴れやかな笑顔で式典に参加する新成人の姿は、どんな状況でも希望を抱き、未来へ進む強い意志を感じさせるものでした。

新成人の皆様の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第55回 たこあげ大会！リニューアル！

1/25(日)

［場　所］国本中央小学校校庭・体育館
［主　催］くにこれん
［参加者］約100名









２年ぶりのたこあげ大会は、たこあげに加えてお正月遊びも楽しめるイベントとしてリニューアルしました。

参加者は、たこあげ、駒まわし、羽根つき、けん玉、福笑い、だるま落としの６種をシールラリー形式で体験し、日頃触れる機会の少ない遊びに保護者の皆様や児童も笑顔で参加していました。３校のPTA、子ども会のご協力もあり、会場は終始あたたかな雰囲気に包まれました。

たこのデザイン賞では、事前に描いてきたオリジナルたこが表彰され、冬の寒さを忘れるひとときとなりました。

くにもとyou・遊・club

①12/20(土)　②1/17(土)
令和７年

［場　所］国本生涯学習センター
［主　催］国本生涯学習センター
［参加者］①19名（11名）②27名（15名）
※（　）は子ども

この講座は、地域で活躍する人材を講師に、将来を担う子どもたちに地域の良さや食の大切さについて再認識してもらい、郷土愛の醸成や地域の活性化のきっかけづくりを目的に、年２回開催しています。

今年は、親子料理教室を実施しました。第１回は、国本地区食生活改善推進員協議会による「郷土料理を作ろう」で、かんぴょうを使った「のり巻すし」と国本のイチゴを使った「おもちフルーツ大福」を、第２回は、徳次郎町にあるグノンによる、「シフォンケーキとフルーツパフェ作り」を体験しました。どちらの講座も参加者からは、最初は難しいと思ったけれど、丁寧に手順を教えてもらってやってみたらうまくできた、親子で体験できたのが良かった、地域の食材や地域の良さを知ることができたなど、それぞれが有意義な時間を過ごすことができました。



フレイル予防教室

2/1日

［場　所］国本地区市民センター　ホール
［主　催］国本地区づくり振興会 健康づくり推進部会
［参加者］40名

「フレイル」とは、加齢などにより心身の機能や活力が低下した虚弱状態をいいます。今回は、いつまでも元気でいられるよう、インストラクターの向吉利洋（むこうよしとしひろ）先生をお招きし、フレイルを予防する運動方法を学びました。

向吉先生は楽しい会話で、日常生活の中で簡単に取り入れられる運動を丁寧に教えてくださいました。楽しく参加できたことで、参加者も「継続して運動をしていこう！」という気持ちになりました。



くにもと ふれあいウォーク

12/7日
令和7年

［場　所］国本地区～大谷方面
［主　催］国本地区づくり振興会 生涯学習部会
［参加者］88名



晴天に恵まれた今年度は、「大谷奇岩群と仁良塚彫刻屋台見学コース」と題して、国本地区の南西部から大谷方面を歩くコースで実施しました。国本地区市民センターを出発し、岩原街道⇒だるま岩⇒大谷奇岩群⇒軽便鉄道軌道跡⇒仁良塚彫刻屋台を巡る、全長約7kmのコースです。

「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が令和6年度に国の重要文化的景観に選定されたことを受け、隣接する大谷方面もコースに取り入れました。コース各所では、ふるさと再発見探訪の会の川村さんから丁寧な解説をいただき、豊かな自然と歴史的資源に恵まれた当地区の魅力を改めて感じることができました。

また、ゴール地点では食生活改善推進員協議会の皆様のご協力をいただき、青空の下、具だくさんのけんちんうどんをおいしくいただきました。

クニノキ ベンチ

12月
令和7年

［場　所］国本中学校校庭西側
［主　催］宇都宮市立国本中学校同窓会
［参加者］国本中学校生徒



昭和22年（1947年）の創立当時、物資が不足する中で「いつか立派な校舎を」という願いを込め、国本地区の方々や学校関係者の手によって、国本中学校の敷地西側にヒノキの苗木が植えられました。月日は流れ、木々は雄大に成長しましたが、近年、道路への枝の張り出しなど管理上の課題が生じました。地域の安全を第一に考えた結果、令和7年（2025年）3月、惜しまれつつも伐採されることとなりました。

国本中学校同窓会は、先人たちの想いを後世に継承するため、伐採された木の一部をベンチとして再生いたしました。名称は生徒たちへの公募とタブレット投票により「クニノキベンチ」と命名されました。末永く親しまれることを願っております。

国本地区防災訓練

2/15日
9:00▶11:30

［場　所］国本地区市民センター
［主　催］国本地区防災会
［参加者］自治会・各種団体・避難所運営ボランティア・国本地区住民など約150名

今年度の防災訓練は、西消防署宝木分署・消防団国本分団・女性防火クラブ等の協力のもと、初めて3部構成で実施しました。第1部では、防災に関する講話が行われ、AR火災煙体験などを交えてわかりやすく学びました。第2部では、AEDを用いた心肺蘇生方法の訓練や、ライブ119訓練を実施しました。そして第3部では、参加者を2班に分け、消火訓練、煙体験、土のう作り、防災資機材の体験、防災クイズコーナーなどの見学・体験訓練を行いました。さらに、西消防署のご協力により「はしご車」などの展示も行い、貴重な機会を提供していただきました。また、恒例となった女性防火クラブによる炊き出し訓練では、豚汁の提供や非常食体験もあり、充実した内容となりました。

災害はいつ、どこで発生するかわかりません。この訓練を通じて、日頃から災害に備える重要性を改めて深く感じた一日となりました。



インスタグラム* 情報発信講座

2/7(土) 2/14(土) 2/28(土)

＊インスタグラム（Instagram）
写真や動画の投稿・閲覧に特化した無料のSNSアプリ

［場　所］国本地区市民センター、国本地区内
［主　催］国本地区づくり振興会
　　国本生涯学習センター
［参加者］11名
［講　師］WEBデザイナー 佐藤範子 氏



国本地区の素敵な「ひと・もの・こと」を再発見し、情報発信のスキルを身につける「インスタグラム情報発信講座」が開催されました。

インスタグラムに投稿する際のお約束から、だるま岩や岩本観音など地区内の文化財を巡り写真を撮影し、実際に投稿するまでを学びました。３回連続で実施されたことで、参加者同士のコミュニケーションが取れ、楽しく学ぶことができました。

インスタグラムを利用している方は、「＃国本地区」または「＃宇都宮市国本地区」のハッシュタグを付けて、国本地区の魅力を発信していきましょう！

国本地区合同新年会

1/17(土)

［場　所］ろまんちっく村
［主　催］国本地区づくり振興会　［参加者］36名



地区づくり振興会常任委員である各自治会長や各種団体の代表など36名が参加し、新年会が開催されました。

常任委員のほか、地区内小中学校の校長先生などが久々に顔を合わせ、和やかな雰囲気の中、参加者同士の親睦を深めることができました。

また、まちづくりのテーマである「明るく活気あふれる住みよい国本地区」の実現に向け、意見を交わすとともに、今年度自治会連合会が作成に取り組んできた「自治会ロゴ」のお披露目もあり、国本地区について大いに語り合うひとときとなりました。

国本の歴史と文化

第十四話「新里街道の古今を訪ねる」〈その2〉鞍掛峠の難所と道路拡張工事

新里街道は鞍掛峠を境に、宇都宮から日光市今市大沢を結ぶ道路で国本地区の交通の脊髄を成しており、明治から昭和の中頃までは馬や荷車で新里地区の特産品の「新里ネギや木炭」などを宇都宮や今市方面に出荷するための重要な街道でした。

しかし、鞍掛峠は新里村と猪倉村の村境の途中にあり、どちらからの行き来にも峠越えは通行者にとって大変な難所でした。そこで、昭和年代に入り両地区にとって長年の願望であった道路改善工事が行われ、地元の努力と当時の道路改修工法としては最高の技法で自動車道路が完成しました。



しかし、完成した道路は峠越えのためカーブが多く、幅員は６m未満と狭く、更に急勾配であり特に冬季に事故が多発しました。また、沿線は山林で照明設備も無く寂しい道路で、近年の自動車交通には大変危険な道路となってしまいました。

その解決策として国庫補助改修事業により鞍掛峠トンネル工事が平成６年から始まり、平成10年に延長938mのトンネルが開通し、現在では沿道及び地域の発展に大きく貢献しております。

令和８年３月

ふるさと再発見探訪の会　川村泰一

読者アンケートにご協力ください

国本地区データ

総世帯数　6,556世帯
（対前年度末増減 +56世帯）

総人口　15,019人
（対前年度末増減 +39人）
［男 7,434人　女 7,585人］
（令和８年２月末日現在）

国本地区自治会連合会からのお知らせ

持っていますか「宮パス」？
（自治会加入者の福利厚生制度）

・サービス提供施設で提示することで優待利用（割引や特典）が受けられます。
・お持ちでない方は、自治会長へお問い合わせください。

［編集・発行］国本地区づくり振興会
〒320-0075　宇都宮市宝木本町1868番地１（国本地区市民センター内）TEL 665-2942　FAX 665-7225

住めば愉快だ宇都宮